

令和6年度 宮島学園第3回学校運営協議会

令和7年2月25日(火)18:00~19:30

宮島学園会議室

(参加委員) 岡田 好江 菊地 寛 森本 啓司
山本 卓士 白水 浩 平岩 透 (欠席3名)
(学 校) 伊豆田 智子 坂田 昇 橋本 浩敬 木村 美穂子 鍋中 亮佑
(教育委員会) 石井 憲幸

1 会長あいさつ 学校長あいさつ

2 議 事

○ 令和6年度学校評価最終報告について

意見・質疑

- (委 員) 保護者として見ていて、充実した1年間だったと思う。我が子が所属するブロックの目標について、だいぶできるようになったと思う。
- (委 員) 縦割り班の取組が充実してきたと思う。毎年やっている取組で、昨年からこれまで経験した後期ブロックの学園生が、中期・前期ブロックの学園生に教える活動を取り入れている。この取組により、後期の学園生は教えるために自分が習得しておかなければいけないので、しっかり覚えて教えることができおり学園生の成長につながっている。これからは、ほかの取組や授業でも上級生が下級生に教える活動を取り入れると学園生の力がもっと伸びると思う。力が伸びると自信につながるので、自信がついたら次の段階へのステップにつなげやすくなると思う。
- (学 校) 後期ブロックは総合的な学習の時間で、宮島のことについて課題を1つ決め、その課題を解決するにはどうしたらよいかを調べ探究する活動を行っている。今年度の探究テーマの一覧を机上に配付している。1年間のまとめを発表する取組を行う。8年生は先日の授業参観のときに発表した。9年生は来月に本校体育館で発表する予定にしている。委員の皆様ぜひ聞きに来ていただきたい。他にも広く案内を配付させていただいている。
- (委 員) この発表は昨年劇のようにして発表したものと同じか。
- (学 校) 今回は、学園生一人一人の発表なので、文化発表会の劇のような発表とは異なる。ポスターセッションの形をとる。
- (委 員) 学園生が宮島のことについて発表するので、ぜひ、廿日市市の宮島担当の職員の方にも聞きに来てほしいと思う。
- (委 員) 「授業で学んだことを生活や他の学習で活かしている」と回答した学園生の割合が9割になっているのが素晴らしいと思う。3月11日に宮島防災訓練で学園生が参加すると聞いているので、ぜひ活躍してほしい。
- (委 員) 学校で学んだことが生活の中のこういうところで役に立っていると感じるのが、家の

中と学校と自分が結び付く場になると思う。いろんな単元で学んだことが生活に結び付いているというのを先生がちょっとした声掛けをしていただくことで、子どもが家に帰って話題にすることができる。家庭と学校と地域において自分がどの位置にいるか自覚を持つことができる。家での水の使い方やごみの捨て方など生活に密着させることで、大きくなった時の力になると思うので、とても良い取り組みだと思う。

(委員) 宮島の将来を背負って立つ子どもたちを育成することが使命だと思う。今若い人たちが島外に出てしまっている状況があるが、将来宮島に思いを馳せて次はこうしたいと考える子どもたちを育成することが大事である。だから、生活や他の学習で活かしていると回答した学園生が9割を超えていることはこれまでの取組の成果が出ていると思うし、もっと宮島のことを誇りに思い好きになる子どもを育成して行ってほしい。

(委員) 先ほどの報告で、島内に公共のトイレが足りないと学園生が言っているということがあったが、そこを先生が掘り下げて、本当に足りていないのかを調べるように指導してほしい。実際は近くにもっとある。巷の少しの情報に流されてはいけないと思う。ある人の意見と別の人の意見は異なる場合があるので、一人の意見を真に受けずにいろんな角度から物事を見ていかないといけないと思う。今後の学校での指導につなげてほしい。

(委員) 「歩く会」は内部組織か。

(学校) 内部組織である。本校に勤めているスクールカウンセラーやスクールソーシャルワーカー、管理職、養護教諭や特別支援コーディネーター等の教職員で組織している。各立場の知見から意見を出し合い、次の一步を考えるという会である。

(委員) 毎月、朝のあいさつ運動に参加しているが、年度当初の頃と比較して自分からあいさつをしてくれる子どもが増えたように感じる。明るく大きな声であいさつしてくれる子が増えたように感じる。しかし、中間から最終の評価が下がっているのが気になる。

(学校) 中間の時はすべての学園生が質問に回答しておらず、その反省から最終の時はすべての学園生に回答させた。中間の時は肯定的評価でない学園生が回答していなかったのではないかとということが考えられ、割合が下がっている可能性がある。

(委員) あいさつは一番大事なことだと思う。社会に出てからもあいさつはコミュニケーションの第一歩として大切なものである。だから、最終で89.3%で評価がBだったので、どうにかして90%を超えるような取組をしてほしい。宮島にはいろんな方が来られるので、よくあいさつできる明るい町だと思ってもらえるようにしていきたい。

(学校) 本校の子どもたちは自信がない子が多いので、地域であいさつを交わしたときに、褒めるなど肯定的な評価をしてもらえたらありがたい。前回の協議会で話をいただいた、なぜあいさつをするのかという話を学校集会の場で子どもたちに話した。今回いただいたご意見も子どもたちに伝えていきたい。

(委員) 我々地域の人間も子どもたちと会った時にはあいさつをしていくことが大切だと思った。また、家庭の中でも「おはよう」などのあいさつを交わす習慣が必要だと思う。親や地域の大人からも子どもに声かけなどあいさつをしていく必要があると思うので、大人に啓発していくことができないだろうか。

(委員) あいさつは人と人をつなげるので、できるようになってほしい。例えば、地域の学習を

した後に、お世話になった人に「ありがとうございます。来年もお願いします。」という一言が言えれば、次の学年にもつなげることができると思う。

(委員) 「宮島で働いてよかった」と感じている教職員の割合が90%に近いので、先生方はやりがいを感じて働いているのだろうとかがえる。本校のように学年が単学級だと、担任1人にかかる負担がどうしても大きくなる。

(委員) 管理職の3人が協力してくださるので、PTAの活動がスムーズに進んでいると思う。ありがたく思う。

(学校) PTA役員の皆さんがよくやってくくださるので、学校の活動が充実している。こちらこそ感謝している。

(学校) 学校の業務を一人に抱えさせずに複数で協力して行うように働きかけている。まだ十分ではないが続けていきたい。

(委員) この学校では教科担任制は導入しているのか。

(学校) 導入している。ある学年の担任が別の学年の体育を担当したり、中学校の教員が小学校の特定の学年の教科を担当したりして、小学校の教員の負担軽減をはかっている。この取組をすることで、一人の子どもに複数の先生がかかわることができてよい。

○ 来年度の学校経営計画（案）について

意見・質疑

(学校) 第1回の熟議で出された意見で、「10年後に宮島に住むとしたら、という視点を加えて探究させる。」「生徒が考えた探究テーマを蓄積していき過去の学習を見える化する。」「学園の活動を発信する。」「あいさつを共に喜ぶ経験をさせる。」「宮島のことを学んだ時に宮島に関する質問等を考えて蓄積していき検定を行うことにつなげていきたい。」「行政の力を借りる。」の項目を来年度実践してみたい。

(委員) 「検定」と言われたが、これは以前廿日市商工会議所が実施していた「宮島検定」と同じか。

(学校) 異なるものである。学校独自のクイズ的なものを考えている。先日、ある学年が他校と交流しているときに、宮島に関するクイズを出していたのでこれを活用したらよいと考えた。クイズとして残して蓄積していけば、宮島に思いを馳せる人が増えていくのではないかと思う。

(委員) 商工会議所が「宮島本」というのを作成している。宮島本に掲載されている情報がすべてになってしまうので、見直しや改善をする動きがある。そのときに島内の者が関わっていったらと思う。そして、宮島学園の子どもたちや旅行に来た若者などが活用しやすいものになるとよいと考えている。

(学校) 次年度の学校経営の方向性は、校長から説明のあった内容でよいか。承認いただける委員は挙手をしてほしい。

→ 出席委員全員挙手。

(学校) 令和7年度宮島学園学校経営方針について承認されたものとする。

○ 意見交流

(学 校) 学校教育目標の副題に「協働と貢献」という言葉を付けている。先ほどの話の中に学園生が10年後に宮島に住むとしたら何が必要かということがあったが、今必要なものとして防災の取組がある。本校では4年生が年間を通して防災に関する学習を進めている。宮島コミュニティの会の中でも防災についての議題が出ている。だから、学校と地域それぞれが学習や取組を進めて高めていけたらよいと思う。先日、地域の方が別件で本校に来られた時に、宮島防災訓練での発表に向けての取組をしている4年生に向けて、激励の言葉をかけていただいた。あの時の言葉で4年生はよりやる気を高めることができた。これこそが学園生が地域に貢献するために効果があることだと感じた。

(委 員) そういうことであれば、地域の者としていつでも協力したい。

○ その他

- ・学校から、令和7年度の協議会委員を継続してほしいとの依頼を行った。一部の委員から諸事情で続けられないとの意見が出た。

3 副会長あいさつ

